



## 幾代会観察会（2024年2月）のまとめ



- 日 時： 2月4日（日）9:10 ～ 13:30
- ポイント： 3月の梅まつりのガイドコースを歩く（3回目）
- 集合場所： 二俣尾駅
- 集合時間： 9時10分
- ルート： 二俣尾駅～奥多摩橋～不動明王～愛宕神社～吉川英治記念館（入館せず）～即清寺～岩割の梅跡～下山八幡神社～中道梅園～鎌倉の梅跡～青梅きもの博物館～梅の公園
- 持ち物： 弁当・飲み物・ルーペ等の観察用具
- 参加者： U、OK、KU(ゲスト)、SA、SU(ゲスト)、TA(ゲスト)、YA、OOの計8名



### ◆ ルート散策と植物観察

いよいよ迫ってきた3月16日（土）の梅まつりのガイドツアー「吉川英治が愛した吉野村とフキノトウ摘み体験」のルートを、咲き・香り始める梅を探梅しながらOKさん、Uさん、OOがガイドを行った。残念ながら当日体調不良のため不参加となったE代表が担当するはずだった説明をOKさんが代わりに快く引き受けて下さった。3回目となるこのコース歩きだが、今回は本番さながらマイクを使い、時間配分に配慮しながら、OKさんの名ガイド技術をお手本に、少しずつ技術を上達させ当日参加者に楽しんで頂けるツアーをと願った観察会となった。

二俣尾駅集合時小雨が降っていたが、Uさん声掛けで体操を行い、身体を温め出発した。奥多摩橋の上でOOが説明したのち、吉野街道を横切り、不動明王を祀る「久石山」(部落の名由来)不動尊に向かった。道中散在していたスギの枝葉の中からめざとくカヤランを見つけ差し出して下さったSUさんのすごさと健脚さに感動。不動明王でUさんの説明を聞き、夫婦岩はどれ?不動明王はいないがどこ?などの質問が出た。下り、再びUさんの説明を受けた愛宕神社にはSnowManのDVDが複数枚飾られていて、数年前「出世の石段」として神社の石段を上り下りする動画をYouTube配信した時のものらしい。関連し、二俣尾駅も村上春樹の『1Q84』の聖地だそうだ。



吉川英治記念館では、OKさんから記念館の建物の配置、門やスギ皮葺き屋根の説明、シンボルの椎の木にムササビが居た話、生垣のサザンカの子房には毛がある(vs.毛がないツバキ)話などの情報を得た。記念館前でトイレ休憩ののち、寒そうなイチョウの大木に出迎えられ、即清寺へ。山門手前の6体の地藏や、四天王のうち二体を祀る二天門の話聞きながら本殿へ。

扉は閉ざされ曼荼羅天井画は仰げず、その他、コウヤマキの大木や、鐘楼の撞木(しゅもく)が和シュロでできている話などの説明を受けた。

鎌倉街道を経て岩割の梅跡へ。家人に依れば、庭にはめずらしい赤色を含むミツマタが約100本、梅26本が植栽されています。続く下山八幡神社ではOOが説明し、英治の吉野村への住民税収に関連し、OKさんから、当時は吉川英治と笠置シズ子2人が「売れっ子」で、英治の収入はシズ子の比ではないほど多かったとの補足があった。また、神社の屋根の鯉木(かつおぎ)が奇数、千木(ちぎ)が縦(外削ぎ)なので男神とのこと。

中道梅園では、OKさんから英治関連の梅話しのほか、梅全般に関する種類・特徴・咲き方など実際に咲き始めていた紅白の梅を觀賞しながら説明を受けた。梅花園では鎌倉の梅跡を経て、フキノトウを探したがまだ姿を見せていなかった。その庭で4分果の実をつけた植物が何か疑問を残したが、後日コクサギだとわかった。



青梅きもの博物館前でOKさんから解説があり、少し入ったところに育つヒイラギの棘について、低い所に棘があるのは鹿の食害を防ぐための植物の知恵だそうだ。梅の公園近くでは、ヒイラギナンテンが黄色い花を咲かせていた。



13:30 少し遅れ気味に梅の公園に到着。参加者に「良かった場所」に挙手してもらった結果、多い順に、①奥多摩橋、梅の公園（5）、②不動明王、愛宕神社、即清寺（4）、③吉川英治記念館、下山八幡神社（3）、④岩割の梅跡（2）、⑤鎌倉の梅跡（1）、⑥二俣尾駅、きもの博物館（0）だった。

#### ◆ 参加者からの意見

殆どの参加者からは概ねよかったとの意見が占めた。改善点は別段ない。短時間内に豊富な内容で、知らないことも多く、聞いていてわかりやすかった。自然な説明の仕方でも聞きやすかった。内容も吉川英治中心の話がよくまとめられていて、伝えたいという熱が伝わった。マイクの使用は効果的だった。行程が遅れた場合の対応を準備すべき（吉川英治の説明を優先し、他を省くなど。相当遅れる場合は参加者に説明しグループわけするなど別対応の必要）。

3回目となるガイドコースの歩きを終え、次は本番となる。その間、季節が春に向けどんどん変わっていくように、ガイドも原稿内容に事細かく固執せず、当日の参加者に合せて、安全でとにかく楽しんで頂ける歩きになるように心がけたい。OKさん、素晴らしいガイドのお手本と心温まるアドバイスをありがとうございました。Eさん、本番までに体調を十分整えて最高・最強のガイドとして、一緒に歩けますように！

(2024.2.11 OO記)

